

記入例②

・今年度初めて申告される方は、令和8年1月1日現在の全資産を、この様式に記入してください。  
・昨年度も申告された方で、令和7年1月2日から令和8年1月1日までに取得した資産がある場合は、この様式に記入してください。

あらかじめ打ち出していますが、打ち出されていない用紙の場合は、手書きで記入してください。

増加事由は、  
1新品、2中古、3移動、4その他  
のいずれかを○で囲んでください。

令和8年度

種類別明細書(増加資産・全資産用)

- 1 構築物
- 2 機械及び装置
- 3 船舶
- 4 航空機
- 5 車両及び運搬具
- 6 工具器具、備品

行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			(イ) 取得価額			(ロ) 減価残存率	(ハ) 働額	課税標準の特例		課税標準額		増加事由	摘要
					年号	年	月	十億	百万	千円			率	コード	十億	百万		
01	1	[記入不要]	チュウシャシヨウホソウ		1	4	27	2			500	000	10	[記入不要]	[記入不要]	[記入不要]	○・2 3・4	
02	2		ハイスイショリシセツ		1	5	01	11			2000	000	10				○・2 3・4	特例15-5-2
03	2		チュウボウセツビ		1	4	25	6			1500	000	8				○・2 3・4	省令改正による変更

償却資産の名称をカタカナ、アルファベット、数字を用いて記入してください。

年号は「3」は昭和、「4」は平成、「5」は令和を表します。

耐用年数の変更については、変更理由が分かるように記入してください。  
(例) 省令改正による変更  
(例) 申告誤りによる変更など

課税標準の特例に該当する資産がある場合は、摘要欄に次のように記入してください。  
(例) 特例、附則第15条第5項第2号

記入例③

令和8年度

種類別明細書(減少資産用)

別紙「令和7年度種類別明細書」に打ち出されている資産コードを間違いないように記入してください。

行番号	資産の種類	抹消コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額			耐用年数	減少の事由及び区分		摘要			
					年号	年	月	十億	百万	千円		申告年度	1 売却	2 減失	3 異動	4 その他	
01	6	00016	クーラー		1	3	53	7			200	000	6	記入不要	Q・2・3・4	○・2	
02														1・2・3・4	1・2		

減少資産を申告される場合、資産(抹消)コードと取得年月、耐用年数、取得価額が別添「令和7年度種類別明細書」と一致しないと減少とはなりませんのでご注意ください。

**記入例④**

昨年申告された方で、令和7年1月2日から令和8年1月1日までに償却資産の取得も除却もない場合は、この様式に「増減なし」と記入してください。

あらかじめ打ち出していますが、打ち出されていない用紙の場合は手書きで記入してください。

令和8年度			種類別明細書(増加資産・全資産用)																		
※ 所有者コード			基山町 所有者名																		
2	[記入不要]		○○工業株式会社 枚のうち 枚目																		
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額			(イ)耐用年数	(ロ)減価残存率	価額			(ハ)※課標標準の特例	※課税標準額			増加事由	摘要
					年号	年	月	十億	百万	千円			十億	百万	千円		率	コード	十億		
01		[記入不要]																1・2 3・4			
02			増減なし															1・2 3・4			
03																		1・2 3・4			

「増減なし」と記入してください。